

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は5,697人で、前年の6,104人から407人減少し、出生率（人口千対）は7.7で、前年の8.2を下回った（全国第38位）。

合計特殊出生率は1.40で全国第9位（昨年は第6位）であった。1位は沖縄県（1.71）、2位は福井県（1.47）、3位は福島県（1.46）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は8,556人で、前年の8,212人から344人増加した。死亡率（人口千対）は11.6で前年の11.0を上回った（全国第1位）。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ28.8%、16.1%、11.7%であり、前年に引き続き死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

死因別死亡率を各都道府県と比べると、老衰及び悪性新生物による死亡率が全国第2位となっている。

(3) 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は-2,859で、前年の-2,108人から751人減少し、自然増加率（人口千対）は-3.9で、前年の-2.8から下降した（全国第3位）。本県は平成4年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は170胎で、前年の191胎から21胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は、29.0で前年の30.3を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、3,345組で、前年の3,441組から96組減少し、婚姻率（人口千対）は、4.5で前年の4.6から下降した（全国第45位）。全国においても前年と比較して婚姻件数は減少している。

平均初婚年齢は夫29.1歳、妻27.4歳で、前年に比べ、夫は0.1歳、妻は0.2歳上昇した。（全国平均は夫29.8歳、妻28.0歳）

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は 1,124 組で、前年の 1,235 組から 111 組減少し、離婚率は (人口千対) 1.52 で前年の 1.66 を下回った (全国第 46 位)。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成17年	平成16年	対前年増減	平成17年	平成16年	平成17年	平成16年
出生	5,697	6,104	407	7.7	8.1	1時間32分16秒	1時間26分6秒
死亡	8,556	8,212	△ 344	11.6	10.7	1時間1分26秒	1時間4分
乳児死亡	18	18	0	3.2	3.4	20日6時間40分	20日6時間40分
新生児死亡	7	10	3	1.2	1.5	52日3時間25分43秒	36日12時間
自然増加	△ 2,859	△ 2,108	751	△ 3.9	△ 2.6
死産	170	191	21	29.0	28.4	2日3時間31分46秒	1日21時間51分50秒
自然死産	62	68	6	10.6	10.2	5日21時間17分25秒	5日8時間49分25秒
人工死産	108	123	15	18.4	18.2	3日9時間6分40秒	2日23時間13分10秒
周産期死亡	31	24	△ 7	5.4	4.7	11日18時間34分50秒	15日5時間
妊娠22週以後の死産	24	18	△ 6	4.2	3.8	15日5時間	20日6時間40分
早期新生児死亡	7	6	△ 1	1.2	1.0	52日3時間25分43秒	60日20時間
婚姻	3,345	3,441	96	4.5	4.8	2時間37分8秒	2時間32分45秒
離婚	1,124	1,235	111	1.52	1.71	7時間47分37秒	7時間5分35秒

	平成17年	平成16年
合計特殊出生率*	1.40	1.48

*分母に用いた人口
総人口 (総務省推計)

注：出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産 (出生+死産) 千対。周産期死亡・妊娠満 22 週以後の死産率は出産 (出生+妊娠満 22 週以後の死産) 千対である。